

# 平成23年度土木部関係主要行事一覧表

日程	行事名	担当課
4月1日～6月30日	都市緑化推進運動	都市計画課
5月1日～31日	水防月間	河川課
6月1日～30日	まちづくり月間 ○まちづくり月間国土交通大臣表彰  ○長崎県まちづくりの絵コンクール (募集:6月上旬～9月中旬)	都市計画課
6月1日～30日	土砂災害防止月間	砂防課
7月1日～31日	河川愛護月間 海岸愛護月間	河川課 港湾課
7月7日	川の日	河川課
7月18日	海の日	港湾課
7月21日～31日	森と湖に親しむ旬間	河川課
8月1日～31日	道路ふれあい月間	道路維持課
8月1日	○長崎県木造住宅コンクール (募集:8/1～10/31)	住宅課
8月10日	道の日 ○道路交通安全、道路の正しい利用、道路愛護等に努め、その功績が特に顕著な民間の団体、個人の国土交通大臣表彰 ○広報活動	
8月25日～31日	道路防災週間	道路維持課
8月30日～9月5日	建築物防災週間(上期)	建築課
9月1日～10日	屋外広告物適正化旬間	都市計画課
9月10日	屋外広告の日	都市計画課
9月上旬	優秀工事、優秀現場技術者表彰式	建設企画課
10月1日～31日	都市緑化月間 住生活月間 ○住宅フェア	都市計画課 住宅課
10月中旬	違反建築防止週間	建築課
11月11日	公共建築の日	建築課
11月18日	土木の日	建設企画課
3月1日～7日	建築物防災週間(下期)	建築課



道の日空き缶拾い



住生活月間



土木の日



土砂災害防止月間(街頭キャンペーン実況)

## 長崎県の各種事業の整備状況(全国との比較)

項目	指標	整備状況			箇所数・延長			摘要
		長崎県	全国平均	全国比	長崎県	全国	全国比(%)	
道路(国道・県道)	改良率(%)	69.9	75.0	0.932	184路線	13,852路線	1.3	道路統計年報2010(H21.4.1現在)
	整備率(%)	53.6	58.9	0.910				
河川	整備率(%)	54.7	—	—	376河川	21,127河川	1.8	H22年度末(全国箇所数は平成22年4月30日現在)
海岸(河川局所管)	整備率(%)	54.8	—	—	288箇所	3,024箇所	9.5	H22年度末(全国箇所数は平成20年度現在)
地すべり	整備率(%)	48.7	—	—	188箇所	—	—	H22年度末
急傾斜	整備率(%)	25.4	—	—	4,157箇所	—	—	H22年度末
土石流危険渓流	整備率(%)	7.0	—	—	2,239箇所	—	—	H22年度末
街路	整備率(%)	63.7	57.9	1.100	620km	74,106km	0.8	H21年度末(全国はH20「都市計画年報」)
都市公園	一人当り公園面積(m <sup>2</sup> /人)	12.2	9.7	1.254	1,116	96,867	1.2	H21都市公園等整備状況調査
住宅	公的住宅整備率(%)	7.1	6.9	1.029	—	—	—	H20 住宅・土地統計調査

港湾	指標	長崎県整備状況	箇所数全体	箇所数整備済	長崎県管理の港湾数/82港 H23.3現在

- 改良率(道路):規格改良済延長/道路の実延長
- 整備率(道路):整備済延長/道路の実延長 整備済延長=規格改良済延長+混雑度1.0以上の延長
- 整備率(河川、海岸):整備(改修)済延長/整備(改修)が必要な実延長
- (砂防、地すべり、急傾斜):対策済箇所数/危険箇所数(要整備箇所)
- 整備率(街路):整備済延長/都市計画決定延長



## 長崎県の日本一・世界一(土木部関連)

～長崎県の日本一・世界一 part.11(平成20年3月、長崎県広報広聴課作成)より抜粋～

グラバー邸	日本最古	文久3年(1863年)建築されたグラバー邸は、現存する木造洋館としては日本最古
大浦天主堂	日本最古	長崎市南山手町の大浦天主堂は、日本に現存する最古の天主堂。慶応元年(1865年)2月19日落成、献堂設計はジラル、フーレ両フランス人神父、施工は小山秀による(国宝指定)
出島橋	日本最古	長崎市の中島川下流に架かる出島橋は明治23年(1890年)に作られ、現役として使用されている鉄橋としては日本最古
高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅	日本最古	高島町端島(軍艦島)の炭坑住宅(大正5年(1916年)建設、地上7階、地下1階)は、現存する鉄筋コンクリート造高層アパートとしては日本最古(ただし、現在人は住んでいない)
生月大橋	世界最大	平成3年(1991年)7月完成した生月大橋の中央径間400mは三径間連続トラス橋としては世界最大
オランダ商館	日本初	慶長14年(1609年)、平戸市に建設されたオランダ商館は、日本で初めて作られたヨーロッパ様式の建物
興福寺	日本初	元和9年(1623年)、長崎在留の唐人たちが宗教行事を行う場として創建したのが興福寺の始まりで、日本で最初の唐寺
近代都市計画	日本初	万延元年(1860年)11月、大浦埋め立て地に、外国人の設計による地割りが行われ、道路幅、敷地寸法をそろえ、下水路を設けた。整然とした都市計画が横浜よりも一足早く行われた。
アスファルト道路	日本初	長崎市のグラバー園内のリンガー邸前の林の中のアプローチは、イギリス人の貿易商トーマス・B・グラバーの息子・倉場富三郎がつくらせた日本初のアスファルト道路。
有料道路(日見峠)	日本初	長崎街道の難所日見峠に馬車を通すために、国道・日見新道会社が明治14年(1881年)に開削・起工し、日本初の有料道路として翌15年7月に開通。
眼鏡橋	日本初	寛永11年(1634年)、唐僧黙子如定(もくすによじょう)により架けられた眼鏡橋は、日本初のアーチ構造石橋
鐵橋	日本初	長崎市浜町と築町の間に架かる鐵(くろがね)橋は、明治元年(1868年)8月1日完成した日本最初の鉄橋(現在の橋は改築されたもの)
西海橋	日本初	佐世保市針尾と西彼杉半島を結ぶ西海橋は、我が国初の上路式プレストアーチ橋(総延長316.26m、中央径間216m)。昭和30年(1955年)10月完成で、我が国初の有料橋
長崎空港	世界初	昭和50年(1975年)5月に開港した長崎空港は、大村湾に浮かぶ箕島(みしま)周辺を造成してつくられた世界初の本格的海上空港。